

ある政党の党首選出に立候補した政治家の演説会、選挙権があるのは国民ではなく
なく、それを全国民向けにテレビが延々と中継。何か変ではないですか。

9月8日のゼミは、斎藤幸平『人新世の「資本論」』の第5章「加速主義という
現実逃避」を斎藤さんの報告で行い、6章は次回にしました。この章の狙
いは加速主義を検討・批判し、脱成長 Kommunismus の姿を鮮明にすること
である。バスターニは新技術の指数関数的な生産力発展を推し進める「豪奢な
Kommunismus」を詠唱し、ラトゥールの「エコ近代主義」は現実逃避の思考
であり、選挙を通じての共産主義革命は素朴であり危険でさえある。フラン
スの「黄色いベスト運動」を取り上げ、ここで出現した市民議会が環境に対
する提言を行っていて、民主主義の在り方を抜本的に変容させた「社会運動」
である。市民議会は、社会運動が「気候の毛沢東主義」に陥ることなく、民
主主義を刷新し、国家の力を利用できることを証明した。資本による包摂と
専制の結果、社会全体が包摂され、構想と実行の統一が解体されたという
レイヴアマンを紹介し、自律性を奪われた労働者は機械の付属品となっ
てしまい、労働者は「構想」という主体的能力を失う。ゴルツは生産力至上主義
の危険を避けるために、「開放的技術」の促進を提唱する。我々は生活その
ものを変え、経済成長と贅沢さを結びつけることをやめて、新しい贅沢さを
見出すべきである。

討論では、「気候毛沢東主義」が出てくるが、毛沢東は時期によって違いが
あり少し抵抗がある。フランス・スペインの市民運動・社会運動を取り上げ
ているが、日本の場合はどうか。特に斎藤氏は「成長」を否定的に取り扱い、
過度の成長に対して、いい成長もあるのではないか。日本の国民の特徴と
して、明治維新後と戦後、素早く「姿」を変えていくところ、日本人の姿と特
徴がある。

出席は、小野さん、川口さん、松村さん、斎藤さん、山口さんと高田の6名
で、久しぶりに中野さんが会場に来られました。

*基礎研研究大会が10月2日・2日に行われます。今回もオンライン配信
で行われ、視聴会場も設置される予定です。プログラムなど詳しいことは
基礎研ホームページに掲載されます。

***** ゼミ日程 *****

9月22日(水)午後6時半～9時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
マルクス『資本論』第3巻36章 資本主義以前の状態:後半 報告高橋さん

10月13日(水)午後6時半～9時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
斎藤幸平『人新世の「資本論」』第6章「欠乏の資本主義」 報告斎藤さん

10月27日(水)午後6時半～9時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
マルクス『資本論』第3巻37章 結論 報告者未定

その後 11/10, 11/24, 12/8, 12/22 (アイクルの部屋)

◇第三学科事務局/高田好章: ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755
HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso